光市高潮ハザードマップ 西部版

令和４年５月、山口県は水防法に基づき、想定し得る最大規模の高潮が発生した場合に想定される「高潮浸水想定区域」を指定しました。県が公表した「高潮浸水想定区域図」に基づき、高潮における水害リスクと水害時の避難に関する情報を住民等に提供し、主に、水害時の住民避難に活用していただくため、高潮ハザードマップを作成しました。

※想定を超える規模の台風による高潮の発生などにより、浸水想定区域以外でも浸水したり、浸水深が深くなる場合があります。

令和5年3月発行　光市総務部防災危機管理課　電話 (0833)72-1403

ハザードマップの使い方

確認したらチェックをしましょう！

① 自宅の位置や避難場所の確認
ハザードマップ上で、自宅などの位置を確認しましょう。

② 危険となる場所の確認
避難の必要がある場合、避難先までの経路で橋や水路、崖など、台風に伴う大雨などで危険になる場所を確認しておきましょう。
※ハザードマップ上の自宅などが危険でなくても（色が塗られていなくても）、いざという時に備え、避難先までに危険となる場所を確認しましょう。

③ 避難経路の設定
②で確認した危険箇所を避けて避難経路を設定しましょう。

④ 避難経路の安全確認
家族や地域で話し合いながら、設定した避難経路を実際に歩いてみましょう。避難経路に危険な箇所が見つかったときは、経路を見直しましょう。
※安全な避難経路が設定できないとき、避難先が遠いときは台風接近前の安全なうちに避難することを考えましょう。

⑤ 非常持出品の準備
家族構成に合わせた必要な物資を確認し、袋に入れていつでも持ち出せるようにしましょう。

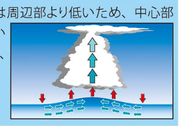
⑥「マイ・タイムライン」の記入
台風接近時に何をするべきか、いつ避難するかなどを家族で確認し、「マイ・タイムライン」を作成しましょう。また、緊急時の連絡先や連絡方法、避難場所を記入しておきましょう。

高潮について知っておこう

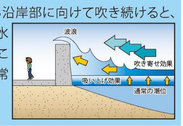
高潮発生のメカニズムと潮位

台風や発達した低気圧が通過する際、海水面が大きく上昇することを高潮といい、「①気圧低下による海面の吸い上げ」と、「②風による吹き寄せ」が原因となります。

①気圧低下による海面の吸い上げ
台風の中心気圧は周辺部より低いため、中心部の大気は海面を吸い上げるように作用し、水面が上昇します。



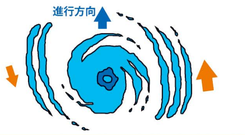
②風による吹き寄せ
強い風が沖から沿岸部に向けて吹き続けると、風下の海岸に海水を吹き寄せます。このため、海面が異常に上昇します。



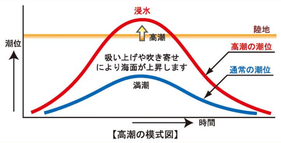
高潮被害が発生しやすい条件

高潮は、**台風等の進路**や**潮位**、**周辺の地形**などによって影響を受けます。

●台風の進路
台風は、進行方向の右側で風が強くなります。
また、周防灘では、関門海峡が非常に狭くなっているため、強い東寄りの風によって吹き寄せられる海水が玄界灘に流出する量より大きくなると高潮が発生しやすい特徴があります。



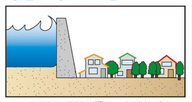
●台風接近時の潮位
潮位の高い満潮時刻の前後数時間に台風が接近すると、高潮発生の危険性が高くなります。
特に、大潮（満月や新月）のときは、満潮時の潮位が高いため、より被害が発生しやすくなります。



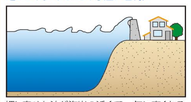
【高潮の模式図】

●周辺の地形
高潮による海面上昇は、海底地形や海岸形状により大きく異なります。次のようなところでは、特に高潮に対する注意が必要です。

周辺より低い土地


周辺より低い土地は浸水の危険性が高い。

急に深くなる海底地形


押し寄せた波が海岸の近くで一気に高くなる。

河口のまわり

高潮の被害と河川の氾濫等、危険が重なる。

過去の災害記録

山口県南方の周防灘は瀬戸内海で最も広い海域で、その沿岸は入り江や湾形の多い南向きの海岸であるため、高潮の影響を受けやすくなっています。

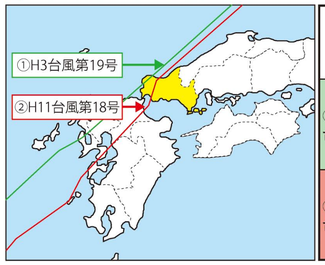
●平成3年　台風第19号
大型で非常に強い勢力を維持した台風第19号は、光市に戦後最大級の被害をもたらしました。最大瞬間風速42m/ｓの強い風と、満潮が重なり大きな高潮となりました。光井川河口沿岸部では防波堤が決壊し、大量の海水が流れ込みました。
浸水の勢いはかなり速く**「寝ている布団ごと畳が浮いてびっくりした」**というお年寄りもいました。
光市では床上浸水142戸、床下浸水49戸の被害が発生し、塩害による10時間以上の停電、断水が起きました。
（瀬戸内タイムス1991年10月1日版より）

平成３年の台風第19号による光井地区の被災写真（平成3年9月27日）

●平成11年　台風第18号
中型で強い勢力を維持した台風第18号は、大潮満潮時に山口県宇部市付近に上陸したため周防灘沿岸における記録的な高潮となりました。沿岸部では、高潮・高波による浸水、家屋被害が頻発し、高潮の影響による河川氾濫も各所で発生、県内各地に甚大な被害が発生しました。
光市では、高潮が防波堤を乗り越え、床上浸水20戸、床下浸水206戸という被害が発生しました。
（瀬戸内タイムス1999年9月27日版より）

平成11年の台風第18号による虹ケ浜地区の被災写真（平成11年9月24日）

高潮災害をもたらした主な台風



	年月日	最低気圧（hPa）	最大瞬間風速（m/s）
①平成3年台風第19号	1991年9月27日	947.0	45.3
②平成11年台風第18号	1999年9月24日	962.6	41.9

下関地方気象台での観測記録

あなたがとるべき避難行動は？

避難行動

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅等の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

自宅等に災害の危険がある場合

原則　立退き避難

自宅等から安全な場所へ移動（水平避難）
【避難先】
○市が指定している避難所
○安全な親戚宅、知人宅、ホテル等

立退き避難する時間がない場合
※浸水がはじまる、暴風雨で外にでることが危険な場合など、すでに災害が発生又は差し迫っている場合

緊急安全確保
直ちに、今いる場所より少しでも安全な場所へ移動
【移動先】
○自宅等の少しでも浸水しにくい高い場所
○自宅等の崖から離れた部屋
○近隣の相対的に高く堅牢な建物

自宅等で安全が確保できる場合

屋内安全確保
自宅等の安全な上階へ移動（垂直避難）又は安全な上層階に留まる（待避）

雨が降り出してからの避難は時間がかかります。また、暗くなってからの避難は危険です。少しでも身の危険を感じたら、早めに安全な場所に避難しましょう。

緊急安全確保は、立退き避難を行う必要がある人が、安全な避難ができなくなってしまった場合に、できるだけ命の危険から身の安全を守る行動です。

避難のポイント

●避難する前に確認を
・火元を点検しましょう。
・電気のブレーカーを切りましょう。

●避難の呼びかけに注意
・危険が迫ったときには、避難の呼びかけがあります。

速やかに避難しましょう。

●避難するときは、近所に声をかけて
・避難するときは、隣近所に声をかけ、みんなで避難しましょう。
・一人暮らしの高齢者や障がいのある方など、避難に時間や手助けが必要な方にはみんなで協力して避難の援助をしましょう。

●動きやすい服装、複数人で避難を
・避難するときは、スニーカー等動きやすい格好で避難しましょう。
・2人以上での行動を心がけましょう。

●足元に注意
・水面下では、側溝に気づかないことがあります。

長い棒などで、安全確認をしながら避難しましょう。
※危険を感じたら安全な場所で待機

●車での移動は控えましょう
・浸水しているところでは、車が水に浸かり動かなくなる（マフラーやエンジンルームに水が入り故障する）ことがあります。

できる限り歩いて避難しましょう。

積極的に情報をあつめよう

光市から発信する防災情報

光市では、広報車の巡回のほか、様々な方法で防災情報を発信しています。

防災行政無線
防災情報等を一斉にお知らせするための放送設備で、無線装置を使って市内各地に設置された屋外拡声子局等からサイレンや音声を放送します。

避難情報発令時には、サイレンを併用して放送します。
※「サイレン吹鳴（15 秒）＋避難情報放送」2 回繰返し
※サイレン音は光市ホームページで試聴することができます。

防災行政無線のアナウンスが聞き取りにくい場合には

防災広報ダイヤル
防災行政無線の放送内容を音声で確認することができます。
(0833)72-1410
※ 防災広報の専用電話です。その他の広報や情報提供には使用していません。

防災情報電話通知サービス
防災行政無線で放送した避難情報や避難所の開設情報などを、固定電話や FAX で受け取ることができます。
※スマホや携帯電話を持たないか、メール操作が困難な世帯を対象にしたサービスです。FAX、メール、郵送又は防災危機管理課、福祉総務課、支所・出張所の窓口で申し込みができます。

メール配信サービス
災害時の避難所開設情報や避難指示等の避難情報、気象警報、防災行政無線の放送内容などをメールで受け取ることができます。
hikari@xpressmail.jp
に空メールを送り、説明に従って、登録してください。　空メール送付先

光市 LINE 公式アカウント
令和４年 10 月からスマホアプリ「LINE」を活用し、避難所の開設情報や避難情報などメール配信サービスと同様の内容を配信しています。
公式アカウントを「友だち登録」して、受信設定から「防災情報」を登録してください。　友だち登録

インターネットから取得

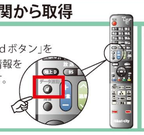
●光市役所のホームページ
光市役所　検索
https://www.city.hikari.lg.jp/

●気象庁の情報
あなたの街の防災情報　検索
「山口県光市」を選択してください。
https://www.jma.go.jp/bosai/
下関地方気象台　検索
https://www.data.jma.go.jp/shimonoseki/

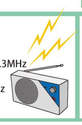
●山口県のホームページ
山口県高潮防災情報システム　検索
https://t-bousai.doboku.pref.yamaguchi.lg.jp/
山口県土木防災情報システム　検索
http:// y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/
防災やまぐち　検索
http://www.bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/pub_web/portal-top/

報道機関から取得

●テレビ
リモコンの「dボタン」を押すと災害情報を表示できます。



●ラジオ
【周波数】
NHK第１放送 675kHz
NHK FM放送 84.0MHz , 85.3MHz
山口放送 765kHz
FM山口 77.9MHz , 79.2MHz
しゃりなんFM 78.4MHz
※可聴エリアが限られます。



電話で確認

光市役所　(0833)72-1400
光警察署　(0833)72-0110
光地区消防組合消防本部　(0833)74-5600

マイ・タイムラインをつくろう

マイ・タイムラインとは、台風や低気圧の接近による高潮や洪水、土砂災害から身を守るため、みなさん一人ひとりの防災行動をあらかじめ時系列に整理するものです。自宅や家族の状況を考え、警戒レベルにあわせた行動を記入してみましょう。

確認しよう！

自宅やよく行く場所の災害リスクは？
→ハザードマップで確認しましょう
高　潮（□浸水する＿＿＿＿m）
洪　水（□浸水する＿＿＿＿m）
土砂災害（□土砂災害警戒区域に入っている）
そ の 他（□崖が近い、□周囲が低い）

家族の状況をチェック
避難に支援を必要とする人
（高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など）
□無　□有
ペット：　□無　□有

家族の連絡先などを書き込んでおきましょう！

氏　名	緊急時の連絡先・連絡方法	避難場所	氏　名	緊急時の連絡先・連絡方法	避難場所

気象状況	台風発生・接近（早期注意情報の発表） → 台風接近の１日前		→ 暴風域に入る数時間前 ※急に猛烈な雨や風になることも		→ 命の危険を感じるような風や大雨
警戒レベル	警戒レベル１ 早期注意情報（警報級の可能性）（気象庁が発表） 今後気象状況悪化のおそれ	警戒レベル２ 大雨・洪水・高潮注意報（気象庁が発表） 気象状況悪化	警戒レベル３ 高齢者等避難（光市が発令） 災害のおそれあり	警戒レベル４ 避難指示（光市が発令） 災害のおそれ高い	警戒レベル５※3 緊急安全確保（光市が発令） 災害発生又は切迫
警戒レベル相当情報		氾濫注意情報	高潮注意報※1 氾濫警戒情報・洪水警報 大雨警報（土砂災害）	高潮警報・高潮特別警報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報	高潮氾濫発生情報※4 氾濫発生情報・大雨特別警報（浸水害） 大雨特別警報（土砂災害）
住民がとるべき行動	災害への心構えを高める	自らの避難行動を確認する	危険な場所から高齢者等は避難※2	危険な場所から全員避難	命の危険 直ちに安全確保！
備えの例	□テレビ・ラジオの天気予報に注意する □マイ・タイムラインを確認 □家族の予定を再確認 □屋外の安全確認 □避難時の持ち物の準備	□ハザードマップなどで避難行動を確認 □安否確認方法の確認 □台風接近と満潮時間の確認 □河川の情報に注意 □危険地域に住む家族・知人へ連絡 □携帯電話を充電	□避難開始 避難に時間を要する方は、危険な場所から避難	□避難開始 危険な場所から全員避難	**自宅や近隣の建物で緊急的に安全を確保** □少しでも浸水しにくい高い場所へ移動する □崖から離れた部屋に移動する □近隣の相対的に高く堅牢な建物に移動する
わたしの行動 「備えの例」を参考にあなたに必要な項目を書き出してみよう！ ①該当するものを記載 ②他に必要なものがあれば記載					

警戒レベル４までに必ず避難

※1 高潮警報に切り替える可能性に言及する高潮注意報。　※2 高齢者等以外の人も、必要に応じ、普段の行動を見合わせたり自主的に避難してください。　※3 市が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル５「緊急安全確保」は必ず発令されるものではありません。
※4 水位周知海岸において山口県知事から発表される情報。

マイ・タイムラインの注意事項

災害は、マイ・タイムラインどおりに起こるとは限りません。また、気象情報、避難情報等は実際の気象や河川の状況に応じて発表されるため、マイ・タイムライン上の時間と一致しないことがあります。実際の災害の際にマイ・タイムラインを使用する場合は、次の注意点を踏まえて行動するようにしましょう。
1 あくまで行動の目安として認識する。
2 気象情報や避難情報等をこまめに収集・確認する。
3 収集・確認した情報をもとに、マイ・タイムラインを参考にして、臨機応変に行動する。

安否確認方法（災害用伝言サービス）

●災害用伝言ダイヤル 171：災害時に NTT から提供される「声の伝言板」です。

利用方法
伝言を録音する ▶ 局番なしで 1 7 1 ▶ 1「1」を選択 ▶ 被災した家の電話番号を市外局番からプッシュ ▶ 伝言を入れる（30 秒以内）
伝言を再生する ▶ 音声ガイダンスにしたがって・・・ ▶ 2「2」を選択 ▶ 伝言を聞く

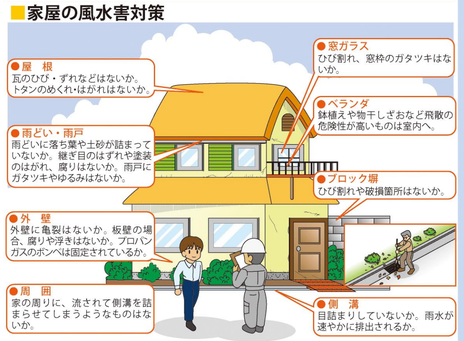
※災害用伝言ダイヤル 171 には Web 版もあります。その他、各携帯電話会社が災害時に「災害用伝言板」のサービスを提供しています。

日頃から風水害に備えよう

地域の自主防災組織の活動への参加

自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という、地域住民の連携により結成される防災組織のことです。
災害発生時にお互いの身を守るため、日頃から自主防災組織の防災訓練などの防災活動に参加しましょう。

家屋の風水害対策



家庭でできる簡易水防

簡易水防は、浸水が浅い場合に簡易水のうやプランターなど身のまわりの物を使って浸水を防ぐ方法です。

簡易水のうの作り方
ゴミ袋に水を入れる。

ひもやテープでしっかりと縛る。段ボールに入れると固定しやすく強度も上がる。

簡易水防①　簡易水のう＋止水板

簡易水防②　プランター＋ビニールシート

非常持出品の準備

家族構成に合わせた必要最低限の物資をリュックサックなどの非常持出袋に入れて、いつでも持ち出せるようにしておきましょう。
※準備したものに☑チェックを付けましょう。